

【委員会における議論のポイント】

今回の格付け結果は、C 評価が 1 名、D 評価が 3 名、F 評価が 2 名であり、全体として低い評価となった。

1. 本報告書が「当委員会は、大東氏射殺事件の背景や原因の解明を目的としたものではなく、そのための調査も実施していない。」として調査のスコープを限定した点について、多くの委員から、最も重要な根幹部分が調査対象から除外されているとして、否定的な評価がなされている。

2. また、調査の深度・真因分析に関しても、「OFS のガバナンス上の問題点を詳細に指摘した点は、真因の 1 つと言える組織上の問題点に肉迫した」、「A 氏や B グループとの不適切な関係等が詳細に記述されている」等と積極的に評価する意見がある一方で、複数の委員が、創業家の中で過去に不適切な取引を主導したとされる加藤欣吾氏に対してヒアリングを実施できていないこと、OFS に巨額の損失等を与え続けた A 氏からも若干の電話聴取を実施したにとどまっていることなどから、調査が不十分であると指摘している。

さらに、A 氏や B グループの評価、反社会的勢力との関わりの有無が検討されていないことを否定的に評価する意見があるほか、平成 25 年 11 月 13 日付けで取りまとめられた調査報告書の引用が多いものの、その内容が信用できる根拠が不明であるとの意見もあった。

以上